

商工労働企業委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 平成28年8月1日（月）～8月3日（水）

◆調査先・調査内容

①株式会社南信州観光公社（長野県飯田市育良町）

調査内容：各サービス提供主体との連携調整による、地域全体でのサービス産業の生産性向上の取り組みについて

同社は平成13年1月に設立された体験型観光による地域振興を目指した第三セクターである。飯田下伊那14市町村と19の地元民間企業・団体の出資を受けており、設立以来、南信州の自然や産業、生活、文化スポーツ等に関する体験プログラムを約180種類も用意し、教育旅行では年間延5万名の利用実績がある。

旅の個別化志向により、旅行の質が問われる中、体験型観光による旅の創造を提供・運営する組織として、人々の協力・連携により、様々な“ほんもの体験プログラム”のコーディネートを行っている。

<主な質疑等>

- ・農家民泊における受入れ農家の調整と、地域の旅館業との調整について
- ・多種多様な体験プログラムの造成について



②株式会社飯田まちづくりカンパニー（長野県飯田市知久町） 飯田市役所（商業・市街地活性化課）（長野県飯田市本町）

調査内容：飯田市中心市街地再生の取り組みについて

飯田市中心市街地は、南信の中心都市として商店街が縦横に発達し栄えていたが、近年は郊外への人口流出が進み、郊外ロードサイド型の商業集積が進んでいる。

同社は、市民が「誇りの持てる街」に再生しようと、市民、商店、企業が中心となって出資し、行政の出資協力を得て設立された市民資本の第三セクターのまちづくりの総合支援会社である。平成10年8月の会社設立以降、市街地再開発事業、りんご並木三連蔵整備事業、テナントミックス事業、福祉サービス事業、チャレンジショップ事業などを実施している。

<主な質疑等>

- ・まちなか居住の推進による市街地活性化及び商業振興の効果について
- ・空き店舗再活用事業における入居条件や店舗誘致及び定着率等について



③株式会社恵那川上屋（岐阜県恵那市大井町）

調査内容：「超特選栗」を利用した菓子周年製造・販売による地域農業との連携の取り組みについて

同社は、地元の優れた素材を使ったお菓子というブランドストーリーの下、栗きんとんをはじめ「超特選栗」を使用した栗菓子を年間通し製造販売している。この「超特選栗」は、契約栽培制度により高価格で購入するため地元農家の事業継続に繋がっている。

また、製造では特殊冷凍技術を使用し、栗の組織を壊さない冷凍、解凍方法を確立して市場に一年中おいしく安定した栗菓子の提供を可能にしている。これにより春、夏、冬の旬の食材と組み合わせた和菓子商品ラインナップを展開し、秋口に集中する売上の平準化により売上の安定化、経営の安定を図っている。

<主な質疑等>

- ・地域農家との連携と「超特選栗」の生産技術の確立について
- ・地域の名菓の継承や復活とその販売について



④藤が丘中央商店街振興組合（愛知県名古屋市名東区藤が丘）

調査内容：地域の大学等と連携した商店街活性化の取り組みについて

同商店街は、名古屋圏域東部の交通結節点として、多数の乗降客が通過する商店街である。「愛・地球博」の開催により、ロードサイド型の商業集積が進み、商店街の利用が減少していた。

現在は、定住人口の増加や隣接大規模商業集積との競合が生じ、地区住民との関係強化・顧客化を促進することが課題となっており、周辺の2大学と連携して総合的なまちづくりを目指している。

商店街による店舗運営、商店街まちづくり理念の検討・明文化、地元高校による地域キャラクター、商店街マップ、ディスプレイづくりなどの事業を総合的なまちづくり活動を推進し、大学と連携した地域ブランド商品の開発やイベント運営等は、若い世代の顧客開拓にもつながっている。

<主な質疑等>

- ・商店街による地域ブランド商品開発の仕組みについて
- ・今後の商学連携について

